



JA大阪市
ISSN 1342-3002

あたらしい繁栄の芽を皆様と



MOE



Illustration by 吉田ユウスケ

本年もよろしくお願い申し上げます



代表理事組合長
田中 聡

あけましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、当組合の各事業全般にわたり、格別のご支援・ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、新年早々に石川県能登半島地震が発生し、多くの方々が犠牲となりました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、経済情勢ですが、国内経済につきましては平成28年より続いた日本銀行のマイナス金利政策が令和6年3月に解除され、石破茂新内閣のデフレ脱却の方針のもと、緩やかな回復が続いている状況です。一方海外では、トランプ前大統領の再選やロシアのウクライナ侵攻など諸外国の政情による我が国の経済・物価への影響は依然として不確実性の高いものとなっています。

また、農業を取り巻く環境に目を向けますと、「食糧・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、食糧安全保障の強化や担い手・農地の確保など、これまで農業関係者が課題と感じてきたことが明文化されました。今後は、この改正を受けた政府の「食料・農業・農村基本計画」

の改定や様々な施策が行われる見込みです。

このような状況の中、当JAの事業におきましては、皆様のJA事業のご利用・ご協力により、現在のところ堅調に推移しております。本年も組合員・利用者の利益につながる商品・サービスの提供と適切な資産運用により、事業収益に繋げたいと考えております。

令和7年度は、令和6年12月に開催された第26回JA大阪府大会の決議事項をもとに第9次中期経営計画を立て、心機一転、役職員一丸となつて新たな挑戦をはじめます。そのためにも現在取り組んでいる第8次中期経営計画を最後までやり残さないよう、目標必達に向け全力を尽くしてまいります。

JA大阪府は国内でも屈指の都市型農協ですが、営農部門の強化を図り、正組合員である農業者の営農と生活を支える事業を第一とし、また准組合員や地域住民からもご満足いただけるサービスを引き続き提供いたします。組合員・利用者の方々のご意見を事業に反映させることで、より一層の信頼関係構築に努めてまいりますので、今後とも皆様のご支援・ご協力とともに、JA大阪府のさらなるご活用をお願い申し上げます。

末筆ながらご家族ご一同様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



代表理事組合長 田中 聡
代表理事専務 (兼務営農担当常務) 文野 和彦
常務 (総務担当常務) 竹村 敏彦
常務 (信用・共済担当常務) 山本 吉章
理事 荻田 昌司

辻江 博三
田中 雅彦
島田 充規
青木 清明
上野 優
芝本 等
上田 保
石田 祐也
辻本 一

理事 南野 利博
井田 一裕
西川 昇子
平岡 美枝子
村井 ヒロ子
中川 誠
森 雄二

常勤 監事 宮浦 靖彦
監事 辰巳 八栄子
支部長代表協議会会長 西川 光明
技術部会長 石田 祐也
女性会会長 西川 昇子
年金友の会会長 北野 吉治
直売所・朝市会会長 青木 清明
大阪市花き生産組合会長 樹 富加津
大阪市内にわの伝統野菜生産者協議会会長 藤本 一

職員一同

CONTENTS

MOE

JA大阪市広報誌 2025 winter vol. 354

- 2 年頭のご挨拶 おいで〜菜情報
- 4 トピックス 「准組合員モニター」活動紹介
- 7 萌ニュース
- 11 フォトクリップ
- 13 よもぎコーナー
- 14 お知らせ
- 15 准組合員モニター募集

今号は、令和6年10月末時点の出資情報システムを元に、全出資者（全組合員）世帯に郵送させていただきました。お心当たりのない方は、お手数ですがJA大阪市本店（06-6793-8701）までご連絡いただきますよう、宜しくお願いいたします。【受付時間】平日 09:00～17:15

JA大阪市直売所 おいで〜菜 平野店

月〜土曜日（日・祝休み） 9:30～15:00 大阪市平野区平野西5-2-2 (TEL.06-6702-7739)



地下鉄谷町線「平野」駅⑥番出口すぐ

移動販売 売り切れ次第終了

販売時間 10:00～12:00

実施日程各 支店ごとに曜日・週目を固定

旧加美支店	第1火曜	茨田支店	第2金曜
巽支店	第1水曜	住之江支店	第3火曜
加美支店	第1木曜	長吉支店	第3木曜
旧瓜破支店	第2火曜	住吉支店	第3金曜
東淀川支店	第2水曜	東淀川支店	第4水曜
東住吉支店	第2木曜		

「准組合員モニター」活動のご紹介

准組合員の声を 運営に活かす活動



J A（農協）は、農業を守り、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合です。農業の担い手である正組合員と農家以外の准組合員により構成されています。

組合員のための組織として、正組合員は、総代会などでJ Aの運営に関与することが出来ます。一方、准組合員にはその機会がありませんでした。そこで、准組合員にJ A大阪市を知っていただき、ご意見を伺うため、令和3年度から准組合員モニター制度をスタート。准組合員を「正組合員と共に地域農業や地域経済の発展を支えるパートナー」と位置づけ、皆様の貴重なご意見を今後のJ A運営に活かしていきます。

いただいたご意見やご要望のうち、すぐに改善できるところは改善し、長期的に検討が必要なのは改善できるよう検討していきます。

14名のモニターより、計254件のご意見・ご感想・ご要望をいただきました

第1回目

●令和5年5月16日（火）
平野支店にて、事業内容の説明や直売所おいで〜菜の見学、グループ座談会を実施。

第2回目

●令和5年6月28日（水）
宮農促進センターにて、利用事業の説明、田植え体験を実施。

第3回目

●令和5年9月15日（金）
貸農園圃場の見学と事業の説明。その後本店にてJ A受託作業の説明を実施。

第4回目

●令和5年10月31日（火）
宮農促進センターにて、稲刈り体験、新米試食会やセンターの施設見学を実施。

第5回目

●令和6年2月16日（金）
モニター会議の良かった点や改善点のほか、今後のJ A大阪市をより良くしていくための活発な意見交換を実施。



モニターからのご意見で 窓口に『杖置き』設置

立て掛けても引つ掛けても滑って倒れたり、置き場に困っていた「杖」。ご意見をいただいた『杖置き』で、その不便も解消しました。

こうした、ちよつ

とした声も、店舗利用の快適さやサービスの向上に繋がる、大切なご意見です。



「ご意見・ご希望など」

直売所の購入者は中高年者が多いので、商品POPは短く要領のみにして、文字を大きくした方が良いのではないか。

J Aさんは支店の窓口しか知りませんでした。中心事業である農業の部分を見えてきてとても良かったです。

教員をしているので、この経験を生徒にフィードバックができるように企画してみたいと思います。

粗摺り後の粉殻と鶏糞の混合で肥料として無駄なく販売しているのに感心致しました。

モニター活動を通じて、農家の大変さと、その中でJ Aが担っている役割が理解できた。

農家の後継者問題や農地の減少など、現在J Aが抱えている問題を認識できた。

大阪市内で育てられたお米がとても美味しいことを知った。今後は直売所などで買い求めたい。

直売所の商品に生産者の苦労や思い入れが感じられるキャッチコピー等のPOPがあれば、スーパー等との差別化・特別感を感じられると思う。

田植や稲刈りなどの貴重な経験ができた。小学校での稲作の出張授業をしているとのことだが、これからの日本を担う高校生たちにも少しでも農業と接する機会を設けてほしい。

窓口担当者の名札が見えやすいように、名札を付ける位置や大きさを工夫して欲しい。

家庭菜園や貸農園の人向けに、肥料や作付けの勉強会を開催してほしい。

時間を持て余すシニアが多いので、貸農園をもっと増やしてほしい。自宅の側にあれば、気軽に利用できると思う。

直売所では、生産者が自分自身で袋詰め作業や値段設定をし、売り場へ並べていると聞いて、売り場と生産者が直接つながっているいいなと思った。このことをもっとPRして欲しい。

第4期

現在20名のモニターが活動中です。

第1回目

●令和6年5月14日（火）
平野支店にて、事業内容の説明や直売所「おいで〜菜」平野店の見学、グループ座談会を実施。

第2回目

●令和6年6月26日（水）
宮農促進センターにて、利用事業の説明、田植え体験を実施。

第3回目

●令和6年9月13日（金）
貸農園圃場の見学と事業の説明。その後本店にてJ A受託作業の説明を実施。

第4回目

●令和6年10月31日（木）
宮農促進センターにて、稲刈り体験、新米試食会やセンターの施設見学を実施。

第5回目

●令和6年11月20日（水）
大阪市なにわの伝統野菜圃場にて、見学や収穫体験を実施。

第6回目

●令和7年2月14日（金）
モニター会議の良かった点や改善点のほか、今後のJ A大阪市をより良くしていくための意見交換を実施予定。



令和5年度(第3期)のご意見の中から
改善に結びついた事例をご紹介します

【ご意見】

LINEで直売所のクーポンや店舗での来店引換えプレゼントなど、お得になることをやって欲しい。

【ご返答】

令和5年8月より始まったJA大阪市公式LINEアカウントも、お陰様で令和6年11月1日時点で570名の方に友だち登録をい

ただいております。

今回のご意見を受け、既に登録していただいた皆様、これから新規に登録をしてくださる皆様への感謝を込めて、令和6年9月より直売所「おいで〜菜」平野店・各支店での移動販売で使えるお得なLINEクーポンの配布をスタートしました。年4回の発行予定です。

これまで頂いたご意見の中から
現在検討を進めている事例をご紹介します

【ご意見】

今後のことを考えると、JA大阪市単独での経営は厳しいのではないかな。

【ご返答】

大阪府下のJAで『大阪農業を守るため、組合員の豊かな生活のためJAの可能性が広がる合併に向けて』をテーマに、府内全14JAでの「JAグループ大阪合併構想研究会」「JAグループ大阪合併研究会」において協議を進めてきました。令和4年に「合併協議の今後の進め方」について、各JAにおける合併協議への参加意向の確認を

行なった結果12JAの参加により協議を進めていくこととなりました。現在、12JAによる広域合併協議委員会を設置し、協議委員会(12JAの組合長、幹事会、12JAの専務、常務等)での会議体により協議を進めています。委員会等での協議により合併構想を取りまとめ、各JAで組合員の皆様へ説明を行い、ご意見をいただきながら合併構想に反映させていきます。今後、合併に向けて具体的な協議を進めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。なお、現時点ではあくまで、

合併が妥当なのか、各JAの状況、メリット・デメリットの検討などを行っている段階であり、広域合併を行うことが確定したわけではございません。



令和6年6月・11月に各支店にて行われた「大阪府内JA広域合併構想説明会」の様子。

「米・食・農」を通じて、多くの「学び」を
地域の小学校へ田植・稲刈り指導



裸足で水田に入ることを嫌がっていた児童も、終盤には手慣れた様子で等間隔に苗を植え付けていきます。

今年度も、地域の小学校や幼稚園・保育園の学習田等にJA大阪市の職員が赴き、田植・稲刈りの出張授業を実施しました。小学5年生の「総合的な学習の時間」として実施する学校が多く、次世代を担う子ども達に、主食の米について学び、食や農業について考えてもらうことが目的です。今年度は昨年度よりも参加校や人数が多く、訪問した際に昨年度指導をした児童(現6年生)から挨拶をされることもあり、この出張授業が子どもたちの記憶や経験として、農業へ関心を持つきっかけとなることを期待します。

JA大阪市では、営農促進センターで育てられたヒノヒカリの苗を無償提供する他、JAバンクが市内各校に2万2千冊配布した小学校5年生の食農教育教材「農業と私たちのくら



平林小学校の田植え・稲刈りは、大阪市建設局の「せせらぎの里」の水田で行われます。当日は、JA職員だけでなく、大阪市建設局の職員も児童たちをサポートしました。



中津保育園の園児から、お礼のお花を頂きました。

学習田のない学校でも、バケツ苗・プランター苗などで稲作を学べます。

し」を活用して、出張授業の際にクイズや座学なども行っています。児童たちが田植え・育成・収穫した稲は営農促進センターで脱穀・粃摺り・精米され、調理実習で試食します。

場所	田植参加人数	田植	稲刈
大阪市立 長原小学校	1クラス26名	6/3	10/29
大阪市立 南百済小学校	3クラス78名	6/3	—
大阪市立 晴明丘小学校	4クラス110名	6/4	—
大阪市立 高殿南小学校	1クラス26名	6/4	10/25
大阪市立 鶴見小学校	2クラス45名	6/5	10/16
大阪府立 平野小学校	4クラス117名	6/6	10/23
大阪市立 晴明丘南小学校	2クラス68名	6/6	—
中津保育園	98名	6/11	—
大阪市立 長吉東小学校	3クラス73名	6/12	10/24
伝法幼稚園	60名	6/13	—

場所	田植参加人数	田植	稲刈
大阪市立 長吉南小学校	2クラス40名	6/13	10/13
大阪市立 北田辺小学校	2クラス53名	6/17	—
大阪市立 高殿小学校	4クラス113名	6/17	—
大阪市立 鷹合小学校	2クラス75名	6/18	10/17
大阪教育大学附属平野小学校	3クラス104名	6/18	—
大阪市立 平林小学校	1クラス19名	6/20	10/29
大阪市立 矢田東小学校	2クラス37名	6/25	—
大阪市立 生野聴覚支援学校	2〜6年生12名	6/27	—
英明幼稚園遠里小野	32名	6/28	—
合計 ◆ 田植 / 19校 1,186名 ◆ 稲刈り / 9校 534名			

来年度入組予定者の
内定式・研修会



内定者は一人ひとり名前を呼ばれ、田中組合長より内定通知書が授与されました。

10月1日(火)、本店にて来年度入組予定の内定者17名を対象に内定式を執り行いました。田中代表理事組合長は、「大阪府下には約3900人のJA職員がいます。皆さんもその仲間となることを自覚し、その若い力でJAという組織を未来永劫維持できるように励んでください」と伝えました。

内定式の後は、日本農業新聞の担当者講師に、新聞の読み方、社会人としての基礎知識を蓄えておくことの重要性を学びました。

この研修で学んだことを活かして、入組者たちには、入組までの期間に農業新聞の定期購読とそれに関する課題を実施しています。



令和7年度 第5期「准組合員モニター」募集中 ※詳しくは裏表紙をご覧ください

取扱商品の魅力を発信 購買品合同展示会



それぞれのブースでは各社担当者が商品の魅力を紹介。マッサージチェアや寝具など、商品を体験できるブースもありました。

10月7日(月)・8日(火)の2日間、本店ホールにて『購買品合同展示会』を開催しました。組合員・地域利用者のニーズに合わせた、生活に役立つ購買商品の提案が目的です。全農大阪をはじめ仏壇や墓石、美術工芸品・補聴器などを取り扱う10社が出展し、商品の展示・販売や相談会を行いました。会場では、来場者が順番に各ブースを見て回り、業者の担当者やJA職員と相談する姿が見られました。



開催に先立ち、利用者により良い購買品の提案ができるよう、5月に渉外担当者を対象とした研修会を実施しました。

10月21日(月)『第21回大阪まちなかハイキング』を開催しました。健康増進活動として年2回春と秋に実施しており、市内の史跡・名所を巡り大阪市内の再発見を行う企画です。

今回は、「大阪の水源地と中島大水道にまつわる歴史にふれる」と題し、青木善雄街歩きガイド案内で26名が参加しました。東淀川区の柴島浄水場では、淀川の水が水道水として利用される過程を学びました。凌雲山崇禅寺では、室町幕府6代将軍足利義教の首塚や細川ガラシャの墓、かつてこの地で起こった仇討事件などの説明を受けながら見学。その後、中島惣社を見学し、神社や惣社、神明社などの名称の違いを学びました。

大阪市内の魅力を再発見 大阪まちなかハイキング



淀川から取水された水の不純物を取り除く凝集池や沈殿池を順番に見学。だんだんと透明度が増す水の様子に、興味津々でした。

令和6年度 上半期部門表彰

10月29日(火)、本店で開催された第7回理事会において、令和6年度上半期の部門表彰が行われました。この表彰は、金融部門重点3項目(貯金・年金・融資)を対象に、上半期・下半期毎に実績を競うものです。

今回の表彰では入組3年未満の職員が入賞するなど、若手職員のフレッシュな力を大いに感じました。田中代表理事組合長より表彰状を受け取った9名は、それぞれ自身の取り組みを振り返り、支えてくださったお客様や支店の仲間への感謝、今後の目標に対する想いを発表しました。

◆年金 渉外部門◆

第2位 金盛 政甫 (長吉支店)	第1位 岡嶋 秀也 (加美支店)	第3位 谷口 善紀 (平野支店)
------------------------	------------------------	------------------------

◆年金 窓口部門◆

第2位 平野支店	第1位 住之江支店	第3位 東淀川支店
-------------	--------------	--------------

◆融資 渉外部門◆

第2位 藤井 亮幸 (長吉支店)	第1位 原田 裕太郎 (住之江支店)
------------------------	--------------------------

◆貯金 渉外部門◆

第2位 松井 雅志 (長吉支店)	第1位 原田 裕太郎 (住之江支店)
------------------------	--------------------------

令和6年度新米ヒノヒカリ 新米を検査



米の検査を行うのは、農産物検査員資格を有するJA職員。金糸で「農産物検査員」と刺繍された紺色のキャップを被ります。

11月5日(火)・6日(水)2日間、わたり、令和6年度新米の検査を営農促進センターにて実施しました。

米の検査は、最初に重量計測をした後、刺子(さす)という器具を用いて米を袋から抜き取り、その色や粒、水分量などを調べます。さらに、精米をした際の品質や胴割れなどを元に、農産物検査員が等級を判断していきます。各支店の担当者や本店職員などもサポートしながら、今年度は1004袋(1袋30kg)の検査を実施しました。

検査されたお米はJAにて買い取られ、精米や玄米の形で各支店や直売所「おいで」菜「平野店」などで販売されています。



楽しみながら健康増進 JA大阪市ゴルフ大会



優勝トロフィーを手に文野代表理事専務と記念撮影をする仲本さん。副賞はIOMIC20周年記念限定モデルのキャディバッグです。

11月6日(水)、天野山カントリークラブにて『第10回JA大阪市ゴルフ大会』が開催され、役職員含め62名が参加しました。昨年の第9回大会は、雨の中レインウェアを身にまといながらのプレーとなりましたが、今回は天候に恵まれ、参加者たちはのびのびとプレーを楽しむことができました。

今回の優勝者は、東住吉支店の仲本雅俊さん。東住吉支店より参加された方の優勝は、今回が初めてとなります。この結果に、表彰式を兼ねたプレー後の懇親会の場も大盛り上がりでした。

その他上位入賞された方々にも副賞が手渡され、お互いの健闘を称えあっていました。



第10回JA大阪市ゴルフ大会
入賞者一覧(敬称略)

優勝 東住吉支店 仲本雅俊	第2位 茨田支店 出羽喜代司	第3位 平野支店 種谷彰	ベストグロス賞 東住吉支店 仲本和嗣	レディストップ賞 茨田支店 飯尾れい子	当日賞 住吉支店 青木清明	その他順位賞等 13名
---------------------	----------------------	--------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------	----------------

営農促進センターで 中学生が職場体験



小学生児童に、鎌の使い方をレクチャーする中学生(写真右)。刈った稲は、その場で職員の手で脱穀されました。

11月7日(木)・8日(金)、平野区の加美中学校2年生4名が、営農促進センターにて職場体験を行いました。

生徒たちは、センター職員の指導のもと、タマネギの苗づくりやサツマイモのツル狩りなどを体験しました。7日は、センターにて瓜破東小学校5年生たちの稲刈り体験も行われ、中学生たちも補助役として参加。事前にセンター職員から、鎌の扱い方や小学生に伝えるべき注意事項などを教わり、実際に児童の横について稲刈りをサポートしました。

営農促進センターでは、地元の小学校の田植え・稲刈り体験のための水田を有しており、今回稲刈り体験をした瓜破東小学校の児童も6月にこの水田で田植えをしています。

栽培課程を総合評価
第32回立毛品評会



花きの圃場を審査する審査員たち。手元のボードに育成状況・栽培管理毎に採点をし、その総合得点で入賞者を決定します。

11月8日(金)、JA大阪府技術部主催の『第32回立毛品評会』が開催されました。立毛品評会は、収穫した作物の品質を競う一般的な品評会とは違い、栽培されている花きや野菜など作物の品質・状態の他、圃場栽培地のこと、の管理や病害虫防除などを総合的に審査するもので、例年11月頃に行われています。出品の対象者はJA大阪府の技術部会会員のみで、技術部会支部長・農学博士・大阪府中部農と緑の総合事務所職員などが審査員となります。

当日、審査員たちは4班に分かれて大阪市内各地区の圃場を訪れ、各ブロック別に審査し、今回は全部で26名の入賞者が決定しました。授賞式は2月頃に開催予定です。

第32回立毛品評会 入賞者一覧
(店舗順・敬称略)

- | 組合長賞 | 優秀賞 | 優良賞 | 努力賞 |
|---|--|---|---|
| 平野支店 種谷秀三(コマツナ)
東淀川支店 村上圭子(ダイコン)
住吉支店 金田博充(ガーデンスクラメン)
住吉支店 濱田孝(コマツナ) | 東住吉支店 西野孝仁(キクナ)
住吉支店 青木清明(金時人参)
住吉支店 辻川穂高(ヒオウ)
東淀川支店 上田秀樹(カリフラワー) | 異支店 天野康英(シルクスイート)
加美支店 池田隆(白ネギ)
住吉支店 松本隆(ブロッコリー)
住吉支店 岡田修(コマツナ)
長吉支店 菰田昌宏(アリッサム)
長吉支店 岸下和平(シヨウガ) | 異支店 瀧田義治(レタス)
加美支店 池田勇(ハクサイ)
平野支店 日下恒春(カブ)
住吉支店 越智正和(アリッサム)
住吉支店 田中雅己(金時人参)
東淀川支店 井田一裕(ブロッコリー) |

夏に植えた実りを収穫
親子で農業体験



立派に育った稲をまとめて掴むのは、子どもの手では大変です。保護者に稲を支えてもらいながら、刈り取りに集中！

11月9日(土)、営農促進センターにて食農教育応援イベント『令和6年度第2回親子で農業体験』を開催し、8組23名の親子が参加しました。農作物に触れ、農業に愛着を持つて、都市農業について親子で考えていただく機会づくりが目的です。

田中組合長から挨拶の後、収穫体験を開始。サツマイモ掘りや6月末の第1回に田植え体験した稲の刈り取り、白菜・キャベツなどの野菜収穫を行いました。子どもたちは保護者やJA職員のサポートを受けながら、鎌やスコップを使い、歓声をあげながら収穫していました。最後に、米の乾燥機や定温倉庫を見学し、収穫された米がどのように玄米となるかを学びました。



新入職員たちも野菜収穫を体験。営農促進センター産の大きな白菜やキャベツに驚いていました。



稲刈りよりも力エルに興味津々。田畑には普段町中で見ることができない生き物がたくさんいます。



子どもたちが芋掘りをしやすいように、JA職員がシャベルを使って、土を軽く掘り起こしてサポート。

JA大阪市 組織活動

組織活動には、「技術部会」など農家を中心とした組織の他「女性会」「年金友の会」などがあり、多くの組合員さんが様々な立場で活動しています。



女性会 異支部 (松下 順子 支部長)



技術部会 東淀川支部 (上田 秀樹 支部長)



女性会 西川 昇子 会長



女性会 住之江支部 (鈴木 久子 支部長)



女性会 東住吉支部 (青山 和子 支部長)



女性会 茨田支部 (大橋 初代 支部長)



女性会 住吉支部 (山本 政子 支部長)



女性会 東住吉支部 (青山 和子 支部長)



女性会 住之江支部 (鈴木 久子 支部長)

農業用廃棄ビニール・ポリ等処理のお知らせ

利用方法

- ①各支店・営農促進センターで【廃ビ回収袋】を購入し、その際にお渡しする『申込書』と『委任状』に必要事項を記入してください。
- ②廃棄資材を【廃ビ回収袋】に入れて営農促進センターへ持ち込み、ご記入いただいた『申込書』『委任状』も一緒にご提出ください。

持込期間 **2025年 3月下旬予定**

持込場所 営農促進センター

対象廃棄物 農業用被覆資材、肥料袋、畔波シート、農ポリ、育苗箱等

●廃ビ回収袋の購入時に詳細をご案内します。

農業講座 **年8回** シリーズ 第9期受講生募集中

これから本格的に農業に取り組もうと考えておられる農業後継者等の方を対象に、野菜栽培などの基礎知識や病害虫についての講習会を開講

対 象 JA大阪市の農家組合員とその家族（農業後継者）※貸農園利用者は対象外

開催日程 **2025年4月～2026年2月**
全8回予定（13:30～）

開催場所 ●JA大阪市本店ホール（大阪市平野区加美鞍作2-2-1）
●営農促進センター2階会議室（大阪市平野区瓜破東6-3-64）

講 師 園芸家 中道徹三郎氏
元大阪府農と緑の総合事務所 農の普及課技師

受講料 **2,000円**（税込）※令和6年度参考価格（テキスト代・講習に伴う諸費用を含む）

募集人数 15名程度 ※応募者多数の場合は抽選

募集期間 **2025年 3月3日(月)～31日(月)**

《お問合せ・お申し込み》ご利用の各支店



10月6日(日)

茨田支店
『鶴見区民まつり』
(花博記念公園 鶴見緑地)



10月14日(月)

東淀川支店
『東淀川区民まつり』
(東淀川区役所等)



10月20日(日)

東住吉支店
『東住吉区民フェスティバル』
(長居公園自由広場)



10月24日(木)

巽支店
園児のための畑づくり
(白菊幼稚園)



10月26日(土)

住吉支店
『すみよし区民まつり』
(沢之町運動場等)



11月5日(火)・6日(水)
参加者20名

加美支店
秋の一泊旅行
(愛媛県道後温泉)

女性会 加美支店 (佐野 ひさ代 支部長)



11月8日(金)
参加者14名

茨田支店
手芸講習会押し花

女性会 茨田支店 (大橋 初代 支部長)

一支店一地域貢献活動

JA大阪市では「一支店一地域貢献活動」と題した地域に密着した活動を、各支店毎に行っています。技術部会・女性会と協力した各イベントでの野菜即売会や地域の子どもたちが土に触れるミニイベントの実施など、「農」を通した様々な活動です。



7月3日(水)

東淀川支店
技術部会東淀川支店
朝市(支店駐車場)



10月5日(土)

加美支店
『かみくらマルシェ』
(菅原神社)



10月16日(水)
参加者17名

東淀川支店
秋の日帰り旅行
(兵庫県須磨シーワールド)

女性会 東淀川支店 (西川 昇子 支部長)



10月18日(金)
参加者30名

平野支店
秋の日帰り旅行
(兵庫県須磨シーワールド)

女性会 平野支店 (天野 佳津子 支部長)



10月21日(月)
参加者22名

巽支店
手芸講習会
(お正月飾り)

女性会 巽支店 (松下 順子 支部長)



10月28日(月)
参加者20名

茨田支店
日帰り視察研修
(兵庫県淡路島 濱田ファーム)

技術部会 茨田支店 (綿世 良一 支部長)



10月29日(火)・30日(水)
参加者27名

長吉支店
一泊親睦旅行
(長野県上諏訪温泉)

女性会 長吉支店 (岸下 安代 支部長)

令和7年度 第5期「准組合員モニター」募集中

JA 大阪市の事業や施設を見学・体験して
ご意見ご要望をお聞かせください

- 応募条件
- JA大阪市の准組合員の方(年齢・性別不問)
 - 下記日程の活動に5回とも参加できる方
- 参加謝礼あり
- 待遇
- 各回、クオ・カード1,000円分の謝礼があります
 - アンケートは活動内でご記入いただき、持ち帰りはありません
 - 集合場所まで公共交通機関をご利用の場合は、実費をお支払いいたします

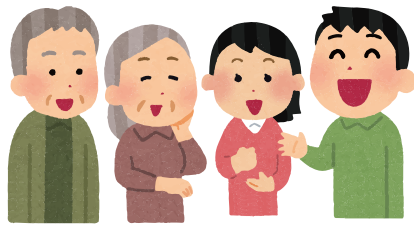
	日時 13時から3時間程度	集合／会場 (本店集合)マイクロバス移動	活動内容
第1回	2025年 5月13日(火)	平野支店 直売所「おいで〜菜」	・JA大阪市の事業内容説明 ・直売所見学 ・アンケート記入
第2回	2025年 6月25日(水)	(本店 集合) 営農促進センター	・営農促進センターにて「田植え体験」 ・アンケート記入
第3回	2025年 9月12日(金)	(本店 集合) 貸農園	・貸農園の見学 ・受託作業の説明 ・アンケート記入 ・座談会
第4回	2025年 10月30日(木)	(本店 集合) 営農促進センター	・営農促進センターにて「稲刈り体験」 「米試食会」「センター内施設見学」 ・アンケート記入
第5回	2026年 2月13日(金)	本店	・ご意見ご要望改善点等報告会 ・アンケート記入 ・座談会

- 【応募方法】
- 応募用紙の場合 ◆ 応募用紙に必要事項を記入のうえ、JA大阪市支店・本店に持参
※応募用紙は支店・本店設置。またはJA大阪市HPよりダウンロードしてください。
- はがきの場合 ◆ 下記の必要事項を記入のうえ、下記宛先に郵送
〒547-0004 大阪市平野区加美鞍作2丁目2-1 JA大阪市本店組織活性対策課
- メールの場合 ◆ 下記の必要事項を記入のうえ、右記アドレスに送信 r-soshik@win.jaosk.jp
- ＝必要事項＝ 「准組合員モニター希望」と明記(メールの場合は件名に)
①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦利用店舗

【応募締切】2025年 2月28日(金)

【募集人数】20名程度 応募者多数の場合は抽選
※モニター決定の通知は、3月初旬に郵送にてご連絡します。

【お問合せ】JA大阪市本店 企画管理部 組織活性対策課
TEL.06-6793-8701(代表)



2025
旬鮮倶楽部

JAのこだわり
セレクションカタログ お申込
受付中

全国の旬のおいしさを
毎月届けします。

皆様に存分にご満足していただける
旬の品々をご用意いたしました。
旬の味覚が満喫できる月別商品や
贈り物に適した歳時商品、
年間を通じて味わえる通年商品まで、
ご希望に合わせてお選びいただけます。



果物・生鮮品・加工品(お肉・お魚・
惣菜・麺類・デザートなど)を多数掲
載しています。

カタログ・申込書は各支店にご用意



商品申込締切 2025年1月31日(金)
カタログ「旬鮮倶楽部」に掲載商品の中から、
毎月1品以上、年間一括でお申し込みください。
2,970円～10,930円(送料・税込)の商品を取り揃えています。

商品お届け期間 2025年4月より2026年3月まで
毎月、申込商品を宅急便にて産地(加工センター)よりお届け。
《お申込み・詳細お問合せ》お近くの各支店まで

第223回 ひらの寄席

～新春初笑い!～
個性豊かな5人の落語会

開催日時 2025年1月9日(木)
13:30～(開場13:00)

定員 300名
料金 1,100円



桂 かかお
桂 弥つこ
桂 春若
桂 かい枝
桂 花団治
(出演順)

《主催・開催場所》公益財団法人 平野区画整理記念会館
申込方法 会館窓口／チケットぴあ

歴史講座 松永久秀(全7回) 1回のみ受講も可能

戦国三大梟雄の一人として悪人のイメージが強い松永久秀。
織田信長を2度も裏切った男は極悪人だったのか。

内容と開催日時 2025年1月17日(金)～3月22日(土)
各回13:30～15:00

1月17日(金) 松永兄弟(久秀と長頼):講師 福島克彦
1月24日(金) 松永久秀と三好長慶:講師 天野忠幸
2月 1日(土) 松永久秀と筒井順慶:講師 金松誠
2月15日(土) 松永久秀と住吉・榎並・平野・堺:講師 天野忠幸
3月 1日(土) 松永久秀と織田信長:講師 天野忠幸
3月15日(土) 松永久秀の家族と家臣:講師 天野忠幸
3月22日(土) 信貴山城と多聞城～松永久秀の築城を考える～:講師 中井均

定員 各回100名
料金 《全7回》《1回》
◆前売/ 6,600円 1,100円
◆当日/ 7,700円 1,320円



大阪市東住吉区中野2-7-16 TEL.06-6702-0513
会館HP <https://kinen100.wixsite.com/kinen>



JA大阪市「不断の改革 不断の挑戦 目指せ 地域のオンリーONE!」

本 店 ☎06-6793-8701 茨田支店 ☎06-6912-1000
巽 支 店 ☎06-6758-0521 東淀川支店 ☎06-6328-4567
加 美 支 店 ☎06-6791-0546 本店資産管理相談課
平 野 支 店 ☎06-6702-0852 (組合員相談センター)
東住吉支店 ☎06-6701-7500 ☎06-6791-3901
住 吉 支 店 ☎06-6691-0293 営 農 促 進 セ ン タ ー
住之江支店 ☎06-6681-4174 ☎06-6700-6111
長 吉 支 店 ☎06-6709-2255 直売所おいで〜菜平野店
☎06-6702-7739

(令和6年10月末現在) ◆貯金残高 3,190億6,467万円
◆組合員数 ◆貸出金残高 762億7,303万円
正組合員 982名 ◆長期共済保有高 5,586億1,832万円
准組合員 18,970名 ◆年金共済保有高 94億8,591万
◆職員数 230名 ◆購買品供給高 9,829万

JA大阪市 ホームページアドレス
<https://www.ja-osakashi.or.jp/>



《お詫びと訂正》 広報誌「萌」2024年秋号(353号)に誤植がございました。
関係者の皆様に深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。
P.4 ■住吉大社御田植神事・写真解説欄 【誤】神水持の山本新造さん → 【正】大田主の藪野雄史さん

「農」の営みを通して JA 大阪市を知り
ご意見やアイデアをください！



JA 大阪市の事業や施設の見学&体験
准組合員モニター
20名募集中!

令和 7 年度
第 5 期

2025 年 2026 年
5 月～2 月
全 5 回



- JA大阪市の**准組合員の方**(年齢・性別不問)
- 5月スタートの**全日程に参加できる方**(全5回)

【応募期間】2025年 **2月28日(金)**まで

【応募方法】応募用紙の店舗持参・おはがき・メールにて

JAでは、正組合員の皆さんは総代会等でJAの運営に関与できる一方、准組合員の皆さんにはその機会がありませんでした。そこでJA大阪市では、准組合員を「正組合員と共に地域農業や地域経済の発展を支えるパートナー」と位置づけ、令和3年度から『准組合員モニター制度』を開始。皆様の貴重なご意見を今後のJA運営に活かしていきたいと考えております。

**農業体験や
新米の試食もできます！
是非ご応募ください！**



ご参加いただいた皆様に
ご参加各回(5回)

**クオカード 1,000 円分
プレゼント!**



【お問合せ】JA大阪市本店 企画管理部 組織活性対策課 TEL.06-6793-8701(代表)

日程・応募方法など詳しくは裏面をご覧ください